

Homework 10

ことばを科学する：人間の再発見（主題別科目：思索と言語）

2013 年度 2 学期

奥 聡

(A)-1

添付の文書、ピンカー『言語を生み出す本能 [上]』（日本放送出版協会：pp.44-71）「II. おしゃべり」の中の pp.59-66「言語能力だけの障害：言語能力だけに障害が現れる例」を読んで、テキストで述べられていることと異なるものを以下から 2 つ選びなさい。（指定の箇所だけを読めば解答できます）

- a. 他の認知能力は無傷のままで、言語能力だけが損なわれるという障害がある
- b. ブローカー失語症は、脳の右半球前頭葉のある部位の損傷によると考えられている
- c. ブローカー失語症患者は、内容語よりも文法的機能語の理解・運用に障害がでる
- d. フォード氏は、動詞や名詞の意味は分かっても、受動文の理解ができなかった
- e. SLI は、遺伝的な言語障害と考えられ、ある特定の家族全員に発現した例が報告されている
- f. 一卵性双生児の一方に SLI が発現していると、もう一方にも発現する確率が高い
- g. SLI は食生活や住環境など、特定の家族が代々引き継いでいる生活パターンとは無関係である
- h. SLI 患者は、英語の複数形の規則が正しく発達しない

(A)-2

添付の文書、ピンカー『言語を生み出す本能 [上]』（日本放送出版協会：pp.44-71）「II. おしゃべり」の中の pp.66-70「言語能力だけの障害：知的障害の「おしゃべり症候群」」を読んで、テキストで述べられていることと異なるものを以下から 1 つ選びなさい。（指定の箇所だけを読めば解答できます）

- a. 一部の失語症患者で、文法的に正しく滑らかに言葉が話せる例がある
- b. 重度の知的障害を持つと、滑らかに話すことは不可能になる
- c. 滑らかに話すことができるにもかかわらず、靴ひもを結んだり、行きたい方向へいけない、という症例がある
- d. ウィリアムズ症候群と呼ばれる精神遅滞児は、文法的に誤った文を訂正できる

(B)

添付の文書、メレール&デュプー『赤ちゃんは知っている 認知科学のフロンティア』（藤原書店：pp.230-247）「2. 言語と知覚障害」を読んで、テキストで述べられていることと異なるものを以下から 2 つ選びなさい。

- a. 手話は、ジェスチャーによるため、音声言語のような繊細な機能に欠ける部分がある
- b. 視覚障害の子どもは、健常児に比べ、単語の獲得に苦勞をする

- c. 健常者が考え出した「指文字」は聴覚障害者がマスターするのは難しい
- d. 手話においても、音声言語と同様、音と形式の関係は恣意的である
- e. 手話は、他の音声言語と同様、自然言語のひとつであると考えられる
- f. 視覚障害児も、「見る」と「見つめる」の使い分けに困難を感じない
- g. 視覚障害児が、助動詞の獲得が遅れるのは、母親のその子に対する言語行動が原因であった
- h. 視覚障害のハンディキャップは、言語の獲得の障害にはならない

(C)

1. ピンカー『言語を生み出す本能 [上]』（日本放送出版協会：pp.44-71）「II. おしゃべり」を読んだ感想を自由に書きなさい。

2. メレール&デュプー『赤ちゃんは知っている 認知科学のフロンティア』（藤原書店：pp.230-247）「2. 言語と知覚障害」を読んだ感想を自由に書きなさい。